ことでした。時間の腐食に耐えうる作品をというのが、あらゆる書き手の願いでもありますが、はたしてその願いどおりに「現在のお客さま」が、この戯曲を受け容れてくださるかどうか。どきどきしながら開幕を待っております。（中略）…しかし、演劇には時間の腐食に耐えられるという特性があります（それが優れた戯曲ならばという条件がつきますが）。演じる人が現代人そのものですから…つまり新鮮な俳優さんによってそのときそのときに応じてよみがえることができるのです。

（2008年2月発行）

「the座」は『人間合格』をどう宣伝してきたか

再演に次ぐ再演で、井上評伝劇でも人気の高い『人間合格』。機関誌the座のキャッチコピーも力が入っています。

《the座第15号》
昭和5年初夏、東京戸塚の下宿で知り合った3人の青年。共産党員、役者、そして小説家。永遠の友情を誓い合い、生きにくい時代をひたすら生きぬく爆笑記。この小説家とは太宰治のことである。

《the座第21号》
生きにくい時代をひたすら生きる、若き太宰治の涙と愛と友情の爆笑記！

《the座第38号》
いずれ劣らぬお道化者。共産党員、役者、そして小説家。生きにくい時代をひたすら生き抜いた三人の、友情の物語。

《the座第50号》
共産党員、役者、そして小説家。開戦前夜から戦中・戦後へ、生きにくい時代をひたすら生き抜く三人の涙と愛と友情の爆笑記！話題の太宰治伝。

《the座第61号》
生きにくい時代をひたすら生き抜く涙と愛と友情の爆笑記。

「生きにくい時代」にエールを

どうやら、「生きにくい時代をひたすら生きた太宰治」というイメージが浮かんできます。第133回公演のチラシには、こう書いてあります。

〝太宰治ってだれ？
津軽が運んできた日本の、青春の風だべよ。〟

青年・津島修治の嘘に爆笑し、作家・太宰治の真実に涙あつく溢れる、あの評伝劇が、演出・鵜山仁と精鋭揃いのスタッフ、実力派キャストで甦る。

太宰治を知る人知らない人も、小説を読んだことのある人ない人も、前の公演を見たことがある人ない人も、そして今回初めて見る人はもちろん、笑って泣いて、元気になれる芝居であることはまちがいなしです。

今回の『人間合格』が、2020年の生きにくい時代を生きる私たちに、さまざまなエールを送ってくれることを期待しましょう。

（栗田政弘）

LIBRARY

〝井上ひさし〟が繋いだ縁

写真
佐々木隆二

市川よみっこ運動に取り組んでいる
千葉県市川市菅野地区の小学生のみなさんから
本と書架をいただきました！

市川市「よみっこ運動」のみなさんから、**「井上ひさし先生のふるさとの遅筆堂文庫に寄付したい」**という申し入れがあり、児童書と絵本と専用書架（20万円相当）の寄付をいただきました。

市川よみっこ運動とは…

作家の井上ひさし（元市川市文化振興財団理事長）が提唱し、2007年から市川市で始まった地域運動です。イタリアなどでも行われているこの運動には**3つの目的**があります。

1 思考力や想像力をはぐくむ読書の習慣と自主性を子どもたちが身につけること。
2 大人たちが子どもたちのサポーターとなって応援し、地域の交流を生み出すこと。
3 本を読んだご褒美として受け取ったお金を子どもたちが社会に役立てること。

市川市では、読書運動に取り組む小学生が毎年夏休みに発表会を行い、読んだ本の感想をサポーターの前で発表しています。そして、そのご褒美として受け取ったお金で様々な社会貢献活動をしています。これまでには、市内小学校への植樹や県内外の図書館への本の寄贈などをしてきました。

児童書担当より

今回、「市川よみっこ運動」から遅筆堂文庫への寄付の申し入れがあり、以前よりリクエストのあった児童書や赤ちゃん向けの絵本・図鑑など 86 冊を購入させていただきました。いただいた本には、バーコード横に市川よみっこ運動のシールが貼られています。本を開いて微笑む横顔のロゴマークがとても可愛らしく、川西の子どもたちも読書を通して笑顔になってくれることを願うばかりです。市川市の子どもたちの思いがこもった本ですので、たくさんの方に利用していただきたいものです。児童書新着本コーナーの隣に書架がありますので、ご来館の際はぜひご覧ください。

よみっこ運動

遅筆堂文庫

遅筆堂文庫には分室があります。場所は川西町交流館あいぱる2Fの図書室と他5部屋。井上ひさし氏の蔵書（雑誌を中心とした膨大な量）が置かれています。

蔵書整理

雑誌を種類別や年代別に分け、後々の研究資料として活用できるように職員とサポートスタッフが力を合わせコツコツと整理を行っております。世の中にはこんなにもたくさんの種類があるのかと目を疑うほどの雑誌の山に圧倒されます。